

令和7年度 決算報告書

国立大学法人 滋賀医科大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,503	5,813	310	(注1)
施設整備費補助金	1,268	849	△418	(注2)
補助金等収入	150	687	536	(注3)
自己収入	28,296	28,681	385	
授業料、入学料及び検定料収入	612	544	△68	(注4)
附属病院収入	27,490	27,594	104	(注5)
雑収入	192	543	350	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,207	1,671	△535	(注7)
引当金取崩	393	527	134	(注8)
長期借入金収入	4,442	3,510	△932	(注9)
目的積立金取崩	84	386	302	(注10)
引当特定資産取崩	187	467	280	(注11)
計	42,533	42,595	62	
支出				
業務費	33,027	34,662	1,635	(注12)
教育研究経費	5,719	4,955	△763	
診療経費	27,308	29,707	2,399	
施設整備費	5,710	4,359	△1,351	(注13)
補助金等	150	687	536	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,207	1,713	△494	(注15)
長期借入金償還金	1,436	1,423	△13	
計	42,533	42,846	312	
収入－支出	－	△250	△250	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった教育・研究基盤維持経費の追加配分等により、予算金額に比して決算金額が310百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、一部事業の工程見直しが必要となり翌年度へ繰越になったことから、418百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国及び滋賀県からの附属病院の賃上げ及び物価上昇に対する支援に向けた補助金が交付されたため、予算金額に比して決算金額が536百万円多額となっています。また、授業料等減免費交付金87百万円が含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、授業料徴収対象者数の減による授業料収入の減少等により、予算額に比して68百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、診療単価の増等により、予算金額に比して決算金額が104百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、予算段階で見込んでいた財産貸付料収入等の増収により、予算金額に比して決算金額が350百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階で予定していた産学連携等研究収入等の減収により、予算金額に比して決算金額が535百万円少額となっています。
- (注8) 引当金取崩については、予算段階で使用を見込んでいた承継職員以外の職員に係る退職手当が見込に対して退職者が多かったこと等により、予算金額に比して決算金額が134百万円多額となっています。
- (注9) 長期借入金収入については、施設整備事業に係る工程見直しによる翌年度繰越によって、予算額より支出が低下したため、932百万円少額となっています。
- (注10) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった事業を実施したため、予算金額に比して決算金額が302百万円多額となっています。
- (注11) 引当特定資産取崩については、予算段階では予定していなかった事業を実施したため、予算金額に比して決算金額が280百万円多額となっています。
- (注12) 業務費については、人件費の高騰、高額医薬品の購入額増加・医療材料費の高騰等により、予算金額に比して決算金額が1,635百万円多額となっています。
- (注13) 施設整備費については、(注9)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が1,351百万円少額となっています。
- (注14) 補助金等については、(注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が536百万円多額となっています。
- (注15) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、執行計画の見直しにより、予算金額に比して決算金額が494百万円少額となっています。